熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年10月29日発表
担当課：熊谷市教育委員会
社会教育課

タイトル

令和2年度　熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1．日時　令和２年１１月３日（火・祝日）　１０時００分　開式

2．場所　熊谷市立大里生涯学習センター　あすねっと

3．事業概要

＜事業内容＞
【式典】

・文化功労者３名　井埜　利博　氏（学校教育　６９歳）
　須藤　蓉子　氏（文　　化　７７歳）
　深町　行男　氏（体　　育　７７歳）

・教育関係職員表彰者　２７名（学校教職員１６名、学校医９名、公民館職員２名）
（熊谷市内在勤１５年以上で勤務成績が良好である者）

＜目的＞
・文化功労者：教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
・教育関係職員表彰：熊谷市内在勤１５年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

＜影響・効果＞
・文化功労者：文化活動を行っている方の励みになり、文化活動の振興に資することになる。
・教育関係職員表彰：教育関係職員の励みになり、教育の振興に資する。

4．特徴やPRポイント

5．その他

＜主催者＞
熊谷市教育委員会
代表者　野原　晃
＜連絡先＞
０４８－５２４－１１１１　内線（３９４）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　熊谷市教育委員会社会教育課　茂木
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２４－１１１１内線（３９４）shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

井埜（いの）　利博（としひろ）　氏　（６９歳）
熊谷市箱田

氏は、平成１６年４月から長きにわたり、熊谷市立荒川中学校の学校医として、安全で衛生的な教育環境の整備や生徒の健全な成長と健康の維持増進に尽力されています。

また、同時期から小児科医としての知見を踏まえ、乳幼児の保健を推進するため、他の郡市医師会には見られない特色ある取り組みである園保健会を創設し、園児の健全な発育と健康の維持増進にも貢献されています。

平成１８年４月から熊谷市医師会附属准看護学校長として、平成２６年６月から令和２年６月まで同医師会看護専門学校長として、地域医療を支える人材となる准看護師及び看護師の養成に努められ、熊谷市を中心とした県北の地域医療の発展に貢献されています。

さらに氏は、小児期において種々の健康障害を引き起こす可能性のある受動喫煙の研究に取り組み、本市の児童を対象とした受動喫煙健診の導入に当たっては、専門的な立場から適切な助言及び指導を行うなど学校保健の充実に尽力されました。受動喫煙健診の導入は、保護者の禁煙など児童を取り巻く生活環境の改善に繋がり、他の市町村に先行する事業として高く評価されています。

このように児童、生徒及び地域住民の健康増進のため、本市の医療、保健の充実及び発展に大きく貢献された功績は、誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

須藤蓉子　氏（７７歳）
（雅号：藤間勘蓉）
熊谷市肥塚

氏は、幼少の頃より日本舞踊の精進に努め、永年にわたり後進の指導養成に尽力されるとともに、熊谷市文化連合副会長、熊谷市芸能協会会長として、幅広い知識と技能をもって、熊谷市民の文化芸術の普及・振興に大いに貢献されています。

平成５年からは、市内の中学校において「詩舞　実盛慕情」の舞踊指導を開始、その後、幼稚園にも指導を拡大し、その成果は、「地域伝統芸能今昔物語」でも披露されています。さらに、高校や公民館において「直実節」等の舞踊指導を積極的に行うなど、次世代に対し、地域の歴史や文化に対する理解を深めるとともに伝統芸能の普及、継承に大いに尽力されています。

また、本市の国際姉妹都市であるインバーカーギル市との交流では、同市訪問団来熊の際には、日本舞踊を披露し、熊谷市市民親善訪問団としてインバーカーギル市訪問時には、現地の方々に着付け体験をしていただくなど、国際交流と日本の伝統文化の普及にも尽力されました。平成２９年からは、熊谷市国際交流協会の「外国人のための日本文化体験」において実技披露と指導を行うなど、絶えず日本文化の紹介・普及にも貢献されています。

このように、幅広い活動により日本の伝統文化、伝統芸能の普及、振興、継承に多大なる貢献をされてきた功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

深町行男（ふかまちゆきお）　氏（７７歳）
熊谷市赤城町

氏は、高校・大学在学中は、器械体操部で数々の輝かしい成績を収め、昭和４０年からは、高校の教諭として、生徒にラグビーフットボールの指導を行うだけでなく、自身も選手として、５年連続国体に出場し上位入賞を果たすなど活躍されました。

昭和４６年からは、熊谷市体操協会理事として、熊谷市体操教室の開講に尽力し、運営役員、指導者として、主に小・中学生を対象として誰もが楽しめる体操教室の企画運営､指導に努められました。理事長在任時には、幼児にまで対象を拡大し、全てのスポーツの基礎となる体操教室は市民から愛され、現在では、多くの申込みがある大人気の教室となっており、子供たちの体操の基本技術の向上、体力向上、健全育成に大いに貢献されています。

平成元年からは、熊谷市体育協会の要職を歴任され、平成２３年県下初の公益財団法人化に尽力し、現在も副会長として、各種スポーツの普及のために大いに寄与されています。

さらに、熊谷さくらマラソン大会実行委員会の競技専門委員として、参加者が安全で快適に走れるよう大会運営に尽力され、平成２５年からは、熊谷市スポーツ推進審議会委員として熊谷市スポーツ推進計画策定にも貢献されました。

このように、スポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがい、豊かさを実感できる市民生活の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。